

別添

入力参考資料

各シートで算定に使用する入力データ項目と、対応する事業資料の該当箇所（例）を示す。ここで想定する事業資料は、「事業計画書」、「事業計画書参考資料」、「経済効果算定資料」である。

経済効果算定資料に関しては、入力例として「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（平成 27 年 9 月 農林水産省農村振興局整備部）を引用し、該当箇所を赤字で示している。

【施工】

入力データ項目	事業資料の該当箇所
工事費（直接工事費）	効果算定資料「総費用」第 2 表（新設整備）、第 10-1 表（更新整備）等 事業計画書参考資料を想定
事業規模（面積、延長等）	「事業計画書」第 5 章主要工事計画
物量（資材量等）	（各種物量の積算値） 事業計画書参考資料を想定

1) 効果算定資料「総費用」第 2 表（工事費）

※直接工事費分に換算する

(2) 新設整備の費用の整理
ア 施設別年度別事業費の整理 (第 2 表)

[国営かんがい排水事業] (単位：千円)

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
工 事 費	410,000	574,500	574,000	574,000	574,000	574,000	574,000	574,000	574,000	574,000	5,902,500
○頭首工	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	410,000	3,690,000
○揚水機場		164,500	164,000	164,000	164,000	164,000	164,000	164,000	164,000	164,000	1,312,500
○用水路											
○排水路											
.											
.											
用地費及び補償費	8,000	3,000									11,000
○頭首工	8,000										8,000
○揚水機場		3,000									3,000
○用水路											
○排水路											
.											
.											
その他施設補償費等											
測量及び試験費	41,000	56,500	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	489,500
その他経費	51,000	71,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	612,000
合 計	510,000	705,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	6,115,000

【維持管理】

入力データ項目	事業資料の該当箇所
水利施設の施設規模 ・水路延長距離 (m) ・機場の出力 (kW) 等	効果算定資料「維持管理費節減効果」第2表 効果算定資料「維持管理費節減効果」第4表 事業計画書 等
農道延長距離 (m)	効果算定資料「維持管理費節減効果」第6表

1) 効果算定資料「維持管理費節減効果」第4表 (水利施設の施設規模)

エ 団体で管理する水利施設の事業ありせば維持管理費

(第4表)

計画施設番号	施設名	新設・改良等の区分	現況施設番号	管理団体	計画施設概要		施設の維持管理等に要する事業ありせば年経費				経費計 (千円) ①+②	
					構造数量機能	工事費 (千円)	千定耐用年数	維持修繕費		運転費		
								経費 (千円) ①	算出基礎	経費 (千円) ②		算出基礎
①	××頭首工 (○○井堰)	改良	1	○○土地改良区	コンクリート構造 鋼製可動堰タイプ Q=0.029m ³ /s	25,000	50	109				109
②	××揚水機	新設	2	●	φ200mm 全揚程50m Q=0.073m ³ /s	49,000	20	309	近傍類似施設の平均 維持管理費から推計	191	契約電力 55×1.178=65kw 65kw×640円=41,600 41,600×4ヶ月=166,400 使用電力 123日×21hr/日×9.4円 /h=24,280	500
③	○○用水路	改良	20	○○土地改良区	開水路L=2.3km 管水路L=7.4km φ700~400mm	413,000	40	2,038	431,000÷40× 0.113=1,167 巡回等増加労務費 871			2,038

2) 効果算定資料「維持管理費節減効果」第6表 (農道延長距離)

カ 団体の管理する水利施設以外の施設等の年経費

(第6表)

施設番号及び施設名	現況	30〇〇線	31〇〇線	..
	計画	④幹線道路	⑤支線道路	..
変更区分		改良・一部更新	改良・一部更新	..
管理者名		〇〇町	〇〇町	..
現況	施設の概要	全幅員4m 有効幅員3m 砂利舗装 1条 L=2,000m	全幅員4m 有効幅員3m 砂利舗装 3条 L=8,000m	
	既往年経費	経費(千円) 200 算出基礎 年1回、不陸均しモーターグレーダー使用 敷砂利補給5mm/年 2,000m×0.005m×4m× 5,000/m ³ =200千円	経費(千円) 800 算出基礎 年1回、不陸均しモーターグレーダー使用 敷砂利補給5mm/年 8,000m×0.005m×4m× 5,000/m ³ =800千円	
計画	施設の概要	全幅員7m 有効幅員5.5m 砂利舗装 1条 L=4,000m	全幅員5m 有効幅員4m 砂利舗装 4条 L=12,000m	
	計画年経費	経費(千円) 2,400 算出基礎 表層を10年間に全量の20%を補修する。単価は小規模改修につき50%増しとする。 20千円/m×4,000m×1.5× 0.2/10=2,400	経費(千円) 1,500 算出基礎 年1回、不陸均しモーターグレーダー使用 敷砂利補給5mm/年 12,000m×0.005m×4m× 5,000/m ³ =800千円	
事業なかりせば	既往年経費	経費(千円) 40 巡回、草刈り	経費(千円) 160 巡回、草刈り	

【営農（ほ場）】

入力データ項目	事業資料の該当箇所
作物種	効果算定資料「営農経費節減効果」第6表
区画規模	
1ha当たりの機械台数（水稻のみ） （トラクター）	効果算定資料「営農経費節減効果」第3表 他 ※各営農集団のトラクター導入台数÷面積
作付面積	効果算定資料「営農経費節減効果」第7表

1) 効果算定資料「営農経費節減効果」第6表（作物種、区画規模）

作物名		水稻	現況区分名		乾田・小区画		計画区分名		乾田・大区画		計画機械化体系名		大型機械		(第6表)							
作業名	作業期間	作業手段	費			機械経費			その他生産資材費 ⑦	営農経費 ⑧	作業期間	作業手段	計			その他生産資材費 ⑦	営農経費 ⑧					
			所要時間 ①	労賃単価 ②	労働費 ③=①×②	稼働時間 ④	時間5あたり稼働経費 ⑤	機械経費 ⑥=④×⑤					所要時間 ⑨	労賃単価 ⑩	労働費 ⑪=⑨×⑩			稼働時間 ⑫	時間5あたり稼働経費 ⑬	機械経費 ⑭=⑫×⑬		
		時/ha	円/時	円/ha	時/ha	円/時	円/ha	円/ha	円/ha	時/ha	円/時	円/ha	時/ha	円/時	円/ha	円/ha						
種子 子指	3/下	共同施設 利用						132,970	132,970	3/下	共同施設 利用					132,970	132,970					
苗代 一切	3/下～ 4/下									3/下～ 4/下												
耕起・ 整地	9/下～ 4/下	ロータリー	83.0	1,107	91,881	47.0	3,050	143,350	-	235,231	9/下～ 4/下	ロータリー 水田ハロー	55.0	1,107	60,885	9.8	2,640	2.6	3,000	33,672	-	94,557
基肥	#	人力	18.0	1,107	19,926	-	-	-	-	19,926	#	ライムソウワ ブロードキャスト	11.0	1,107	12,177	1.7	2,580	6,899	-	-	-	19,076
田植	4/下～ 5/中	田植機	88.0	1,107	97,416	23.4	3,050	71,370	-	168,786	4/下～ 5/中	田植機	37.0	1,107	40,959	9.4	1,500	14,100	-	-	55,059	
追肥	6/上～ 7/下	散粒機	15.0	1,107	16,605	7.7	510	3,927	-	20,532	6/上～ 7/下	散粒機	11.0	1,107	12,177	3.2	240	768	-	-	12,945	
除草	5/下～ 7/下	#	50.0	1,107	55,350	3.8	510	1,938	-	57,288	5/下～ 7/下	#	46.0	1,107	50,922	1.5	240	360	-	-	51,282	
水管理	4/下～ 9/下	人力	75.0	1,107	83,025	-	-	-	-	83,025	4/下～ 9/下	人力	65.0	1,107	71,955	-	-	-	-	-	-	71,955

2) 効果算定資料「営農経費節減効果」第3表（作付面積当たりの機械台数）

営農類型	水稻+野菜	計画区分名	乾田・大区画	計画機械化体系名	大型機械	(第3表)						
項目	概要										備考	
作付体系の概要 (模式図)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12											作物別効果発生面積 ha 水稻 380 トマト 16 さといも 6 (だいこん) (6)
		<p style="text-align: center;">← 水稻(22.5ha) →</p> <p style="text-align: center;">← トマト(6.0ha) → ← だいこん(6.0ha) →</p> <p style="text-align: center;">← さといも(1.5ha) →</p>										
作業体系の概要 (模式図)	水稻	耕起	苗代	基肥	砕土・整地	田植	除草・防除	刈取・脱穀	乾燥・調整			
	トマト	ほ場整備	石灰散布	耕起	施肥	砕土・畦立	定植	防除	追肥	収穫・出荷	跡地整理	
	さといも	ほ場整備	石灰散布	耕起	砕土・作溝	施肥	定植	追肥	収穫・出荷	跡地整理		
	だいこん	石灰散布	施肥	耕起・砕土	畦立	除草	播種	防除	栽培管理	収穫・出荷	跡地整理	
営農集団の規模及び機械利用の組織等	面積 30ha	導入機械及び施設 構成戸数 25戸	機械・施設名	台数又は棟数	機械・施設名	台数又は棟数	・管理主体 機械利用組合 ・利用方法 農業機械は共同利用、施設は農協有利用					
			トラクター	2	ロータリープラウ	1						
			ロータリー	2	中耕ロータリー	1						
			水田ハロー	1	ロータリーシーダー	2						
			ライムソウワ	1	洗浄機	1						
			ブロードキャスト	1	軽トラック	1						
			田植機(4条)	2	ライスセンター	1						
			動力散粉機	2	共同育苗施設	1						
			動力噴霧器	1	共同集出荷施設	1						
			コンバイン	2								
			トレンチャー	1								
			リジヤ	1								

3) 効果算定資料「営農経費節減効果」第7表（作付面積）

キ 新設整備による営農経費節減効果の総括							
						(第7表)	
作物名	現況区分名	計画機械化体系名	単位面積当たり営農経費節減額			効果発生面積 ④	年効果額 ⑤=③×④
			現況 ①	計画 ②	差 ③=①-②		
水稲	小区画乾田	大型機械化体系	円/ha 1,192,352	円/ha 704,184	円/ha -488,168	ha 80	千円 39,053
合計							

【営農（農道）】

入力データ項目	事業資料の該当箇所
稼働時間（時間）	効果算定資料「営農に係る走行経費節減効果」第5表
時間当たり経費（円/時間）	効果算定資料「一般交通等経費節減効果」第3表

1) 効果算定資料「営農に係る走行経費節減効果」第5表

カ 営農に係る走行経費節減効果の算定 (第5表)

車種名	項目	諸元		車両走行経費		人件費						総労働評価額 (千円) ⑬=⑭+⑮	走行経費 (千円) ⑯=⑰+⑱			
		延べ台数 (台) ①	稼働時間 (時) ②	時間当たり経費 (円) ③	経費 (千円) ④=③×②	1台当たり時間 (時) ⑤	総人員 (人) ⑥	総時間 (時) ⑦=①×②	時間当たり費用 (円) ⑧=⑦÷②	労働評価額 (千円) ⑨=⑧×②	総人員 (人) ⑩			総時間又は稼働時間 (時) ⑪=⑩×②	時間当たり費用 (円) ⑫=⑪÷②	
現況	軽四トラック	284,528	26.45	66	17,612	0	1	33,679	1,540	61,106	1	26,453	1,540	40,738	101,844	119,356
	1トン車	196,757	15.67	66	10,377	1	1	62,703	1,540	95,563	1	15,676	1,540	24,141	120,704	131,081
	2トン車	39,336	3.93	1,007	3,961	2	1	29,502	1,540	45,433	1	3,934	1,540	6,058	51,491	55,452
	小計	460,619	46.06		31,950			131,884		203,102		46,063		70,937	274,039	305,889
事業ありせば	軽四トラック		36	27	102						1	294	1,540	453	453	555
	1トン車		6	56	96						1	52	1,540	80	80	116
	小計		42		198							346		533	533	671
	計(A)	460,619	46.48		31,988			131,884		203,102		46,406		71,470	274,572	306,560
事業なかりせば	軽四トラック	220,438	22.04	66	19,090	0	1	33,096	1,540	90,922	1	22,044	1,540	33,946	84,869	103,960
	1トン車	130,631	13.06	66	11,313	1	1	52,252	1,540	80,466	1	13,063	1,540	20,117	100,585	111,898
	2トン車	32,780	3.27	1,265	4,137	2	1	24,888	1,540	37,861	1	3,278	1,540	5,048	42,909	47,940
	小計	383,849	38.38		34,539			109,903		169,251		38,365		59,113	228,364	262,903
事業なかりせば	軽四トラック		30	407	125						1	241	1,540	371	371	496
	1トン車		5	88	47						1	42	1,540	65	65	111
	小計		35		171							283		436	436	607
	計(B)	383,849	38.73		34,711			109,903		169,251		38,648		59,549	228,799	263,510
事業なかりせば	軽四トラック	367,400	73.48	66	48,644	0	1	55,110	1,540	84,869	1	73,486	1,540	113,159	195,029	246,672
	1トン車	123,233	24.64	66	18,316	1	1	49,293	1,540	75,911	1	24,647	1,540	37,958	113,868	130,184
	2トン車	10,814	2.16	1,007	2,184	2	1	8,133	1,540	12,525	1	2,169	1,540	3,340	15,865	18,049
	小計	501,477	100.29		67,144			112,536		173,305		100,296		154,456	327,761	394,906
年効果額 (D=C-B)	軽四自動車		20	15	31						1	410	1,540	631	631	663
	普通車		76	273	213						1	468	1,540	705	705	918
	軽四トラック		16	561	90						1	126	1,540	194	194	284
	小計		112		334							994		1,531	1,531	1,861
再建設整備に係る効果 (E=C-A)				32,778										155,987	329,292	396,770
新設整備に係る効果 (F=A-B)				35,490					△ 29,797					84,517	54,720	90,210
														△ 2,723		43,050

2) 効果算定資料「一般交通等経費節減効果」第3表

③ 一般交通経費節減効果の算定 (第3表)

車種名	項目	諸元		車両経費		人件費		走行経費 (千円) ⑥=③+⑤
		稼働時間 (時) ①	時間当たり経費 (円/時) ②	経費 (千円) ③=①×②	時間当たり経費 (円/時) ④	総労働評価額 (千円) ⑤=①×④		
現況	軽四自動車	4,033	320	1,291	3,772	15,212	16,503	
	普通車	2,547	320	815	3,772	9,607	10,422	
	軽四トラック	36	662	241	3,409	1,241	1,482	
	1 t トラック	1,550	662	1,026	3,409	5,284	6,310	
事業ありせば	2 t トラック	60	1,007	605	5,246	3,153	3,758	
	計(A)	9,099		3,978		34,497	38,475	
	軽四自動車	1,865	407	758	3,772	7,023	7,781	
	普通車	1,174	407	478	3,772	4,432	4,910	
事業なかりせば	軽四トラック	16	866	145	3,409	573	718	
	1 t トラック	71	866	619	3,409	2,437	3,056	
	2 t トラック	27	1,262	350	5,246	1,453	1,803	
	計(B)	4,19		2,350		15,918	18,268	
年効果額 (D=C-B)	軽四自動車	6,20	320	1,986	3,772	23,405	25,391	
	普通車	3,91	320	1,254	3,772	14,779	16,033	
	軽四トラック	56	662	371	3,409	1,909	2,280	
	1 t トラック	2,38	662	1,579	3,409	8,130	9,709	
再建設整備に係る効果 (E=C-A)	2 t トラック	92	1,007	931	5,246	4,853	5,784	
	計(C)	13,99		6,121		53,076	59,197	
	再建設整備に係る効果 (E=C-A)	4,898		2,143		18,579	20,722	
	新設整備に係る効果 (F=A-B)	4,898		1,628		18,579	20,207	

【土壌】

入力データ項目		事業資料の該当箇所
土地情報	土壌分類	「事業計画書」第3章第2節 第4表-1-2 (地図上地点選択)
	土壌面積割合	
	気温(月平均)、降水量、水面蒸発量	
作物情報	作物種	効果算定資料「作物生産効果」第10表、 第21表
	表作・裏作	
	作付面積	
	単収	
	搬出可能な残渣の量の持ち出し率	
水管理 (水稲のみ)	水管理 (間欠灌漑水田/間欠灌漑水田(中干しを1週間延長)/常時湛水水田)	-
堆肥	堆肥の投入量	効果算定資料「営農経費節減効果」第2表他
堆肥以外の有機質肥料	堆肥以外の有機質肥料(種類)	効果算定資料「営農経費節減効果」第2表他
	現物投入量	効果算定資料「営農経費節減効果」第2表他
化学肥料(窒素)	化学肥料(窒素)の施用量	効果算定資料「営農経費節減効果」第2表他
排水性に係る情報	排水に関する整備面積 (用排水路、排水路、暗渠排水)	「事業計画書」第3章現況第3節水利状況 「排水施設(第5表)」 同第5章主要工事計画第7節農用地整備施設 「末端排水路等(第23表)」 「暗渠排水(第23表)」

※肥料等に関する情報は得られないケースが多く想定される。入力を空欄とした場合、見える化サイトの標準的な値が自動的に用いられる。

1) 効果算定資料「作物生産効果」第10表(作物情報)

(キ) 生産増減効果の算定

(第10表)

計画 地目	作付面積				効果要因	単収				等		生産増減量		生産物 単価	増加粗 収益額	年効果額		年増加所得額					
	作物名	現況	計画	増減		効果発生 面積	107- 現況 単収	107- 無被害 単収	増収率	107- 増加量	計画 単収	単収増 減	作付 増減			純益率	増 純益額	所得率	増 加 所得額				
		ha	kg/10a	kg/10a	kg/10a	%	kg/10a	kg/10a	t	t	千円/t	千円	%	千円	%	千円							
田	水稲	502 (24)	420 (24)	△82	干害防止	420	—	—	—	—	—	16.8	—	—	—	—	—	—					
					水害防止	420	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
					小計	—	549	—	558	—	—	—	—	—	37.8	—	—	—	—	—	—		
					乾田化-1	11	—	—	558	4	22	—	—	—	2.4	—	—	—	—	—	—		
					乾田化-2	63	—	—	558	2	11	—	—	—	6.9	—	—	—	—	—	—		
					水管理改良-1	87	—	—	558	3	17	—	—	—	14.8	—	—	—	—	—	—		
					水管理改良-2	17	—	—	558	2	11	—	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—		
					小計	—	549	—	558	—	6	564	26.0	—	—	—	—	—	—	—	—		
					計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.8	—	280	17,864	73	13,041	83	14,827
					作付減	△82	549	—	—	—	—	—	—	—	—	△450.2	280	△126,056	2	△2,521	41	△51,682	
水稲計	—	549	—	558	—	—	564	63.8	△450.2	—	△108,192	—	10,520	—	△36,856	—	—						
大豆	50	70	20	湿 かんがい	50	180	—	—	8	14	194	7	—	287	2,009	70	1,406	83	1,667				
					作付増	20	180	—	—	—	—	194	—	38.8	287	11,135	—	0	41	4,565			